

搾乳ロボット導入農場に対する技術支援

(十勝農業改良普及センター十勝東部支所)

背景

【幕別町幕別・札内地域の概要】

○農業経営体数492戸、経営耕地面積16,047haで畑作野菜複合経営および酪農・肉牛複合経営からなる農業を基幹産業とする地域である

○農業生産の維持・拡大に向け、作業効率の向上と生産資材の節減等を可能にするスマート農業技術の導入が求められている

【地域の課題】

○労働力の不足に対応する支援組織の充実や省力化技術の導入が求められている

○畜産農家では粗飼料の確保が必要であり、草地更新の推進や耕種農家との連携が必要である

普及活動内容

○搾乳ロボットへの移行支援
既導入農家の情報収集を行い移行準備を支援し、移行後は乳頭の状態などを確認し離脱タイミング設定の助言をした



先進事例情報収集



ロボット馴致支援
(搾乳離脱設定調整)

○牛の健康と良質粗飼料の確保
自発的で効率的なロボット搾乳を行うため、乾乳牛の飼養管理と良質粗飼料の確保を支援した



乾乳牛飼養管理支援
(施設・飼養管理検討)

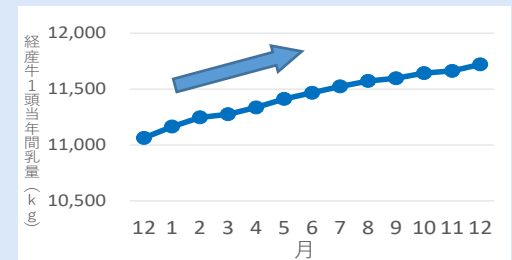


良質粗飼料の確保
(サイレージ踏圧向上)

普及の成果

【具体的な成果】

○乳牛が健康な状態で搾乳ロボットに移行し乳量や乳質・繁殖成績が安定し、生産は順調に推移した



生産乳量の向上

	リニアスコア	分娩予定平均(日)	除籍率(%)
R 3年	2.6	439	35.0
R 4年	2.3	416	15.2
増減	▲ 0.3	▲ 23	▲ 19.8

搾乳ロボット移行後も、乳牛の状態は良好

牛の健康の向上 (乳質・繁殖・除籍率)

【成果のポイント】

○移行時の課題を事前に整理し、コントラクターや飼料会社などと連携し準備をすすめた事で、搾乳ロボットに順調に移行できた